

【2023年12月5日】

郡上市立郡南中学校 SDGs×清流長良川 令和5年度中間まとめ会に当社取締役専務執行役員 サンメッセ総合研究所(Sinc)代表の田中信康が招待されました



郡上市立郡南中学校(校長:三島 晃陽 氏)は、郡上市のひと・まちづくり推進プロジェクトSDGs源流 education実証校並びに、令和4年から6年にかけて、郡上市教育委員会の研究指定校に指定されており、岐阜県が世界に誇る、清流長良川をテーマに「持続可能な社会の創り手の育成」を進められています。

その背景には、郡上市では生産年齢人口が激減し、少子高齢化が加速的に進んでいることが挙げられ、このVUCAの時代を牽引する生徒に対し、郡上市の魅力を変えて実感してもらい、多様な他者との協働により、持続可能な社会を目指し、主体的に参画できる資質・能力を育てていくことを目指し、総合的な学習の時間を中核に置いた教育課程を創造されています。

このような取り組みは、外部からも評価され、岐阜新聞社が選ぶ、優れた教育活動で成果を上げた県内の学校として2023年度岐阜県優秀校にも選出されました。

2023年12月5日(火)、今年度のこれまでの活動を振り返る、令和5年度中間まとめ会が開催され、同校のSDGsスクール・アドバイザーを務める田中が招待されました。



中間発表では、一年生・三年生からの取組発表と、昨年スタートした「郡南マルシェ」に向けて、二年生の商品開発に関する公開授業が行われました。



一年生／探究課題「清流長良川 ～山・川・海のつながり～」発表の様子



三年生／探究課題「持続可能な清流長良川の未来を私たちの手で～郡上の強みを生かした教育旅行～」発表の様子



三年生の取組発表後に、田中より総括があり、「素晴らしい発表をありがとうございました。皆さんご存じの通り、SDGsの達成は2030年です。あと、7年が目標ですが達成度は15%といわれています。残念ながら、このままでは達成は到底不可能です。

SDGsの前文の通り“transformation”変革が必要なのです。これまでの常識を変えていく必要があります。そして、2030年は君たちの未来のことなのです。自分たちの未来をよりよく変えていく為にも、今回の授業で感じたこと、学んだこと、疑問に思ったことは、声を大にして発信していこう。きっと、大人たちもそれに付いてくるはず。これからも共に頑張っていこう」とエールを贈りました。

当社では、これからも将来を担う、子どもたちとSDGs達成に向けた「共創」の取り組みを推進してまいります。